

# コープ災害ボランティア ネットワークニュース

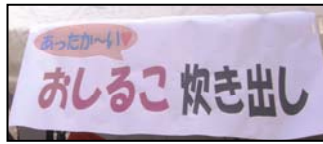
第53号

2012年2月発行  
東京都生活協同組合連合会  
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会  
03-3383-7800

阪神・淡路大震災から17年。1月14日(土)に『灯りのつどい』が国際フォーラム地上広場で開催されました。主催した東京災害ボランティアネットワークは東日本大震災で甚大な被害を受けた登米市南三陸町で支援を実施しているため規模は縮小されましたが、震災から学ぶこと、私たちに出来ることを考えあい、震災と向き合う1日となりました。コープ災害ボランティアネットワークのメンバーも炊き出し訓練のボランティアとして『お汁粉炊き出し』を行いました。



あんこをお湯でのばし大きなお釜に入れます。ここから混ぜるのは力がいらいます。



出来立てのお汁粉を参加者に振舞いました。



サッとゆでた白玉を入れ暖かいお汁粉を注げば出来上がり



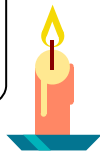
パネル展示や防災クイズ、煙体験などのご案内もしました。

いま、わたしたちに、できること。

## KOBE MEMORIAL 1,17 灯りのつどい



**灯り作り**  
グラスにそれぞれの思いを込めて絵を描きました。



**本部テント**  
防災クイズ回答者に防災グッズを配布。



描いたグラスに灯を点して祈りをささげました。



**パネル展示**  
阪神淡路大震災の様子や被災地支援などの様子を展示しました。あらためて都市災害に対しての気づきが生まれました。



阪神淡路大震災がおきた午前5時46分から12時間後の午後5時46分に犠牲者へ黙祷をささげました。

# 行ってきました！三宅島お掃除ボランティア

東京の生協は、2000年の三宅島雄山の噴火から、支援物資の供給だけでなく、さまざまな形で災害支援を続けてきました。全島避難解除となった2005年から、東京災害ボランティアネットワーク(以下、東災ボ)が“三宅島年末お掃除ボランティア”活動を続けています。東災ボの一員である東京都生協連もコープ災害ボランティアネットワーク(以下、CO災ボ)のメンバーや会員生協職員を募り、お掃除や島民との交流を続けています。

12月2日(金)からと12月16日(金)からの2回実施されましたが悪天候のため12月2日からは1日延泊となりました。地元の中学生や他団体のボランティアと一緒に掃除をしました。生協からはCO災ボメンバーと、職員あわせて14名が参加しました。



12月2日からのメンバーと地元の中学生



12月16日からのメンバーと地元の中学生



『風の家』での交流会

お掃除ボランティアは中学生と一緒に4～5名のグループで『風の家』を利用している島民のご自宅に伺い、電気の傘やガラス窓などのお掃除をしました。また、お弁当を一緒にいただきながら和やかな交流をしました。

## お掃除ボランティアの感想

- ・とても素直な中学生で自分の意思で活動に参加する気持ちはすばらしい。
- ・すばらしい出会いが沢山出来ました。
- ・欠航になって帰れなくなった時、島の人たちの心遣いが暖かく、帰れないのにとてもうれしくなりました。
- ・三宅島について色々お話いただき良く理解できました。
- ・高齢化社会が進んでいくと三宅島だけでなくこのようなボランティアの必要性が高くなるのではないかと思います。



『風の家』は島の皆さんを中心として多くの仲間が『やさしく、仲良く』集う場として誕生して、7年目を迎えました。



## みやげじま『風の家』交流もちつき会



毎年恒例のもちつき会が12月10日『風の家』で開催されました。東京災害ボランティアネットワーク上原事務局長より「東日本大震災、日本中が悲しみに包まれました今こそ、東北の皆さんに心からのたくさんの優しさと希望が必要なときです。必ず再び立ち上がる日がくることを希望として歩んでいきましょう。間もなく迎える新しい年に“希望”を持って進んでいきましょう。」とご挨拶の後、みんなでおもちつき、楽しくお昼の交流、三宅中学校『吹奏楽部』の皆さんの演奏、最後はみんなで合唱して、お腹も、心もいっぱいになるやさしさの行き交う楽しい『交流もちつき会』になりました。

